

## 第三セクターの経営情報について[北九州野球株式会社]

### 1 会社概要

#### (1) 事業内容

- ① プロ野球公式戦等の興行
- ② 北九州市民球場内の広告、宣伝に関する業務
- ③ 北九州市民球場内の食料品等の販売に関する業務
- ④ 北九州市民球場等（北九州市民球場、三萩野球場）の指定管理業務

#### (2) 会社設立及び本市の出資額・割合

会社設立 昭和63年11月16日

資本金 50,000千円（本市出資金2,000千円 出資率4.0%）

### 2 事業報告要旨等

第 3 6 期	令和5年4月1日から令和6年3月31日
事業報告要旨	<p>令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行されたこと等により、前期以上の球場利用があった。</p> <p>利用実績として、高校野球81試合、大学野球9試合、社会人野球37試合、少年野球41試合が行われた。</p> <p>プロ野球では、予定されていた福岡ソフトバンクホークス主催の公式戦2試合とオープン戦1試合（合計3試合）のうち2試合が行われ、公式戦1試合は、雨天中止となった。2試合の観客数は、合計で29,677人であった。</p> <p>また、独立リーグのプロ野球チーム「北九州下関フェニックス」の試合が13試合、日本女子ソフトボールのトップリーグ「JDリーグ」の試合が、12試合開催された。</p> <p>自主事業では、福岡ソフトバンクホークス等の協力による「北九州ベースボールクリニック」や「ホークス野球塾」等を開催し、北九州市の野球の振興・技術の向上及び野球を通じた青少年の健全育成に取り組むとともに、施設面では芝生の張替えや1階トイレブースの改修等を行い、施設の安全性・快適性の向上を図った。</p> <p>令和6年度は、日本プロ野球公式戦（2試合）や、北九州下関フェニックス（15試合）及び日本女子ソフトボール「JDリーグ」（14試合）等の試合開催が予定されている。</p>

収支の 状況	当期純利益	4,830 千円				
	直近三事業年度 の収入及び 損益の状況		第33期	第34期	第35期	第36期
			R2.11.1~ R3.3.31 (5ヶ月間)	R3.4.1~ R4.3.31 (12ヶ月間)	R4.4.1~ R5.3.31 (12ヶ月間)	R5.4.1~ R6.3.31 (12ヶ月間)
		売上高	40,293 千円	115,652 千円	131,914 千円	139,316 千円
		経常利益	3,973 千円	6,175 千円	8,190 千円	7,002 千円
	当期 純利益	2,288 千円	4,503 千円	5,958 千円	4,830 千円	
繰越利益剰余金		63,299 千円				
株主総会	監査報告	監査役が監査を実施した結果、適正と認める。				
	議案	<p>令和6年6月19日に第36回定時株主総会が開催され、以下の議案が異議なく可決された。</p> <p>第1号議案 第36期貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表承認の件</p> <p>第2号議案 取締役8名選任の件</p> <p>第3号議案 監査役2名選任の件</p>				

令和6年6月19日

株 主 各 位

北九州市小倉北区三萩野2丁目10番1号

北九州野球株式会社

代表取締役社長 田中 亮一郎

### 第36回定時株主総会

報告事項 第36期（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）事業報告  
内容報告の件

決議事項 第1号議案 第36期貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書  
及び個別注記表承認の件  
第2号議案 取締役8名選任の件  
第3号議案 監査役2名選任の件

## 事業報告

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

### 1. 株式会社の現況に関する事項

#### 1. 事業の経過及びその成果

今期は、コロナ禍も下火となって各地で各種イベントが積極的に実施される様になり、北九州市民球場におきましても、前期以上の活発なご利用がありました。北九州市民球場の利用実績として、高校野球 81 試合、大学野球 9 試合、社会人野球 37 試合、少年野球 41 試合のご利用があり、三萩野球場のご利用も 311 件を数えております。

プロ野球は、福岡ソフトバンクホークス主催ゲームが、今期は、公式戦 2 試合のほか、オープン戦が 1 試合予定されました。残念ながら、4 月 25 日「ファイト九州」楽天戦は雨天中止となりましたが、7 月 12 日の「鷹の祭典」西武戦は、17,861 人のお客様にご来場いただき、大いに盛り上がりました。さらに、3 月 2 日に開催された横浜 DeNA とのオープン戦は、雪模様の悪天候にもかかわらず、11,816 人のお客様にご来場いただいております。

また、独立リーグのプロ野球チーム北九州下関フェニックスの試合が大幅に増え 13 試合、日本女子ソフトボールのトップリーグ「JD リーグ」の公式戦が、4 月、5 月、10 月に 12 試合が開催されました。その他、高校、大学、社会人野球等も合わせますと、北九州市民球場では年間 195 試合が開催されました。

その他、当社の自主事業として、福岡ソフトバンクホークスと北九州市軟式野球連盟のご協力のもと、小学生を対象とした「ベースボールキッズ」、中学生を対象とした「ホークス野球塾」「第 3 回北九州ベースボールクリニック」の野球教室を開催し、大勢の少年・少女にご参加をいただいております。これらは、今期以降も継続実施し、北九州市の野球の振興、技術の向上に貢献し、また健全な青少年育成の一助となればと、考えております。

今期実施した主な改修工事は、北九州市民球場では、外野定位置 3 ヶ所の芝生張替え(段差解消)、ナイター照明ランプ取替え、スコアボード電源ユニットの交換、1 階男女トイレブース・便器改修、屋外トイレ漏水・手洗い水栓金具修理(7 ヶ所)、1 階諸室ドアクローザー取替え、バッティングケージ 2 台ネット・鋼管補修、3 階記者室 Wifi 設置等、三萩野球場では遮光ネットワイヤー交換を実施いたしました。今後も引き続き、安全性、快適性の向上に努めて参ります。

球場広告については、地元企業を始めとする従来からのスポンサーに加え、新規

スポンサーの獲得を目指し、継続して営業活動を行っております。

以上の結果、当期の売上高は、139,316千円となり、営業利益は、6,964千円、当期純利益は、4,830千円となりました。

来期の北九州市民球場で開催のプロ野球は、4月11日「福岡ソフトバンクホークス対北海道日本ハムファイターズ戦（開催済）」の他、6月21日「福岡ソフトバンクホークス対千葉ロッテマリーンズ戦」が予定されており、6月の公式戦は「ファイト！九州 in 北九州」として開催予定です。北九州市の多くのファンが市民球場に足を運び、熱戦を楽しんでいただけるものと確信しております。また、北九州下関フェニックスの主権試合は15試合、日本女子ソフトボール「JDリーグ」の試合は14試合開催される予定です。その他、高校、大学、社会人野球等についても、今期同様の活発な利用が予定されております。

## 2. 直前三事業年度の財産及び損益の状況

(財産及び損益の状況)

区 分	第33期※	第34期	第35期	第36期 (当事業年度)
売上高(千円)	40,293	115,652	131,914	139,316
当期純利益(千円)	2,288	4,503	5,958	4,830
1株当たり当期純利益(円)	2,287円93銭	4,502円81銭	5,957円93銭	4,829円92銭
総資産(千円)	118,409	133,995	149,255	163,328
純資産(千円)	98,008	102,511	108,469	113,299

(注) 1. ※第33期については、事業年度変更により5か月間となっております。

## 3. 対処すべき課題

安全・安心の球場運営を実施して参ります。また、グラウンドをはじめ、施設の維持・改善とともに、利用者の快適性の向上に努めます。

## 4. 主要な事業内容

- ①プロ野球公式戦等の興行
- ②北九州市民球場内の広告、宣伝に関する業務
- ③北九州市民球場内の食料品等の販売に関する業務
- ④北九州市民球場等の指定管理業務

## 5. 使用人の状況

使用人数 3名（前事業年度末比 増減なし）  
 平均年齢 41歳 平均勤続年数 10年

## 2. 株式に関する事項

- ① 発行可能株式総数 4,000株  
 ② 発行済株式の総数 1,000株  
 ③ 当事業年度末の株主数 46名

### ④ 主要な株主の状況

株主名	持株数	保有割合
北九州市	40株	4%
第一交通産業株式会社	40株	4%
株式会社ゼンリン	40株	4%
株式会社西日本シティ銀行	40株	4%

## 3. 会社役員に関する事項

地位	氏名	重要な兼職の状況
代表取締役社長	田中 亮一郎	第一交通産業(株)代表取締役社長
取締役	羽田野 隆士	北九州商工会議所専務理事
取締役	安積 研二	福岡ソフトバンクホークス(株)顧問
取締役	森田 隼人	シャボン玉石けん(株)代表取締役社長
取締役	加治 敬通	(株)ハローデイ代表取締役社長
取締役	鶴岡 直樹	(株)ゼンリン参与
取締役	中谷 正紀	第一交通産業(株)顧問
取締役	松本 裕美	北九州野球(株)管理部長
監査役	竹尾 祐幸	(株)西日本シティ銀行取締役副頭取
監査役	重見 亘彦	辻・重見税理士法人 代表社員

(注) 本事業報告に記載している金額は、表示単位未満の端数を四捨五入しております。

## 計 算 書 類

### 貸 借 対 照 表

(令和6年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	155,944	流動負債	46,478
現金及び預金	130,698	未払費用	13,977
未収入金	12,619	前受金	24,365
前払費用	11,367	預り金	5,578
立替金	1,335	未払法人税等	1,056
貸倒引当金	△ 75	未払消費税等	1,501
固定資産	7,384	固定負債	3,550
有形固定資産	5,445	役員退職給付引当金	3,550
建物及び附属設備	2,332		
構築物	1,550	負 債 合 計	50,028
その他	1,563	(純資産の部)	
無形固定資産	291	株主資本	113,299
電話加入権	291	資本金	50,000
投資その他の資産	1,648	利益剰余金	63,299
長期前払費用	1,648	その他利益剰余金	63,299
		繰越利益剰余金	63,299
		純 資 産 合 計	113,299
資 産 合 計	163,328	負 債 ・ 純 資 産 合 計	163,328

(注) 記載金額は、千円未満を四捨五入して表示しております。

## 損 益 計 算 書

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		139,316
広告売上		29,050
レストラン売上		2,894
チケット収入		18,436
興行収入		12,277
球場管理収入		76,659
売上総利益		139,316
販売費及び一般管理費		132,352
営業利益		6,964
営業外収益		
受取利息	1	
貸倒引当金戻入額	36	
雑収入	0	37
経常利益		7,002
税引前当期純利益		7,002
法人税・住民税及び事業税	2,172	2,172
当期純利益		4,830

(注) 記載金額は、千円未満を四捨五入して表示しております。



## 株主資本変動計算書

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				純資産 合計
	資本金	利益剰余金		株主資本 合計	
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計		
前期末残高	50,000	58,469	58,469	108,469	108,469
当期変動額					
当期純利益	—	4,830	4,830	4,830	4,830
当期変動額合計	—	4,830	4,830	4,830	4,830
当期末残高	50,000	63,299	63,299	113,299	113,299

(注) 記載金額は、千円未満を四捨五入して表示しております。

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産 定率法を採用しています。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備並びに構築物については、定額法を採用しています。

#### (2) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定に基づく法定繰入率により、回収不能見込額を計上しております。

② 役員退職給付引当金 役員が退職した場合に必要となる退職金を計上しています。

#### (3) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理は、税抜方式を採用しています。

### 2. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における発行済株式の数 1,000株

## 監 査 報 告 書

私たち監査役は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの第36期事業年度に係る計算書類及びその附属明細書を監査いたしました。その方法及び結果について以下のとおり報告いたします。

なお、当会社の監査役は、定款に定めるところにより、監査役の範囲が会計に関するものに限定されているため、事業報告を監査する権限を有しておりません。

### 1. 監査の方法及びその内容

各監査役は、取締役等から会計に関する職務の執行状況を聴取し、会計に関する重要な決裁書類等を閲覧いたしました。また、会計帳簿及びこれに関する資料を調査し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和6年5月28日

北九州野球株式会社

監査役 竹尾 祐 幸 (印)

監査役 重見 亘 彦 (印)

## 株主総会参考書類

### 議案および参考事項

第1号議案 第36期（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表承認の件

議案内容は、5頁から8頁に記載のとおりであります。

第2号議案 取締役8名選任の件

本総会終結の時をもって取締役8名が任期満了となりますので、取締役8名の選任をお願いするものであります。

その候補者は次のとおりであります。

氏名	重要な兼職の状況	所有する当社の株式数
田中 亮一郎	第一交通産業(株)代表取締役社長	0株
羽田野 隆士	北九州商工会議所専務理事	0株
安積 研二	福岡ソフトバンクホークス(株)顧問	0株
森田 隼人	シャボン玉石けん(株)代表取締役社長	0株
加治 敬通	(株)ハローデイ代表取締役社長	0株
鶴岡 直樹	(株)ゼンリン参与	0株
中谷 正紀	第一交通産業(株)顧問	0株
松本 裕美	北九州野球(株)管理部長	0株

(注) 各候補者と当社間に特別の利害関係はありません。

### 第3号議案 監査役2名選任の件

本総会終結の時をもって監査役2名が任期満了となりますので、監査役2名の選任をお願いするものであります。

その候補者は次のとおりであります。

氏名	重要な兼職の状況	所有する当社の株式数
竹尾 祐幸	関西日本シティ銀行取締役副頭取	0株
重見 亘彦	辻・重見税理士法人 代表社員	0株

(注) 各候補者と当社間に特別の利害関係はありません。